

2026.2.1 航空医学適性セミナー

報告

日時 2006 年 2 月 1 日 13:30~17:00

場所 羽田空港第1ターミナル 1階 全日空講堂

参加者数: 89 名

参加団体 航空局

医療法人: 3 団体

エアライン: 16 社

航空関連事業: 2 社

開会の辞 航空医学センター所長

内容 (テーマ)

最近の航空身体検査での話題 航空医学評価官 医師 (高崎、伊藤)

アルコールに関する管理について 航空医学研究センター 医師 (関田)

本邦 HIMS ガイドラインについて エアライン操縦士 機長 (宮田、松本)

地方の指定医として 指定医 (石田)

航空大学校校医として 指定医 (鈴木)

現場での課題・問題点 航空医学センター所長 医師 (五味)

閉会の辞 J A P A 副会長

補足: このセミナーは、航空身体検査が合理的かつ適切に行われることを目的として開催されています。航空身体検査の現場に携わる方々の参加を仰ぎ、日常の健康管理、検査と判定、手続きと事務処理、制度と運用などについて、まずは関係者が知識を共有することに重点を置いています。また、検査を受けているエアラインの操縦士も参加しています。

セミナーの準備を兼ねて、月に一度会議がもたれ、参加者は直近の情報を交換しています。会議のメンバーは、局の評価官、検査業務を行っている指定医、エアラインの産業医です。因みにこの情報交換会は 2010 年 6 月 5 日に始まりました。

